

2019年度  
岡山大学大学院法務研究科  
法学未修者入試A日程  
小論文問題

- ・ 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- ・ 解答は解答用紙に 横書き で記入してください。
- ・ 問題冊子は、この表紙を含めて合計8枚あります。
- ・ 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください（解答用紙は解答の有無にかかわらず、必ずすべて提出してください）。

問題 以下の〔文章〕を読んで、下記の2つの設問に解答しなさい。

**【設問1】**

筆者は、なぜ多数決でものごとを決めるのかについて、いろいろな説明があるとしたうえで、それらの議論にはそれぞれ「いろいろな穴」があると指摘している。筆者が指摘する「穴」について、要約しなさい。（300字以内）

**【設問2】**

ある自治体の市長選挙に立候補した候補者が「個別の重要政策については、政策ごとに住民投票を実施して決定していく」との公約を掲げたとする。この公約の是非について、以下の〔文章〕を踏まえて論じなさい。（800字以内）

\* [文章] の出典：長谷部恭男『憲法の良識 - 「国のかたち」を壊さない仕組み - 』（朝日新書・2018年）148頁以下（なお、出題の都合上、文章の一部を省略・加工している。）

**【出題意図】**

特定のテーマについて書かれた問題文を読み、その内容を的確に理解できる能力をみるとともに、提示された設問に対する自己の見解を、問題文の筆者の説明に即した形で、論理的かつ説得的に論述できる能力をはかることが、出題の意図である。